



# 第87回

# 琉大21世紀フォーラム

学内と社会を結ぶ交流の場

学生と職員の交流の場

テーマ

## ハワイと沖縄を結ぶ美ら星

日時

平成28年8月9日(火)

16:00~17:45

会場

琉球大学学生会館

3階ホール

講演者

嘉数 悠子 かかず ゆうこ

(国立天文台ハワイ観測所 すばるアウトリーチスペシャリスト)

沖縄県那覇市出身

那覇市立真和志小学校、沖縄尚学附属中学校・高等学校

2001年 東北大学 物理系宇宙物理学科 学士修了

1999-2000年 カリフォルニア大学サンタ・クルーズ校 交換留学

2003年 ハワイ大学マノア校 天文学研究所 修士号取得

2008年 ハワイ大学マノア校 天文学研究所 博士号(Ph.D.)取得(理学博士)

2008-2009年 パリ天体物理学研究所、フランス国立科学研究センター(CNRS) 研究員

2010-2011年 カリフォルニア工科大学 研究員

2011-2013年 シカゴ大学、カブリ宇宙物理研究所 研究員

2013-現在 国立天文台ハワイ観測所、すばる望遠鏡 アウトリーチスペシャリスト



概要

人類最古の学問といわれる天文学は、人々の生活を担う大切な役割を果たしてきました。

ハワイアン祖先、古代ポリネシア人は星を頼りに広大な海域を自由に航海する天文学者でした。

一方、沖縄県八重山諸島では暦のなかった時代、星々を頼りに農作業の時期を知り(星見)、那覇の首里城では太陽の位置から時刻を測っていました。

8000キロメートルも離れた沖縄とハワイの島々で古くから航海術や星見に使われていたのがプレアデス星団、和名すばる。ハワイ語ではマカリイ、沖縄ではむりかぶし(むりぶし)と親しまれている星です。国立天文台ハワイ観測所の望遠鏡は「すばる」、石垣島天文台の望遠鏡は「むりかぶし」と、同じ星の名前が愛称になっています。同じ星空の下にある沖縄とハワイは、古くから天文学やさまざまな文化の絆で結ばれています。

ハワイと沖縄に共通する美ら星の話を中心に、古代天文学、「すばる望遠鏡」が探る最新の宇宙、そして天文学の未来についてもお話いたします。

ロッキーチャレンジ賞

仲村巖氏(日産ディーゼル元社長)は「外界志向」「志」「チャレンジ精神」をキーワードに前進する人々を応援する基金を2010年に設立しました。第7回ロッキーチャレンジ賞を嘉数氏に授与します。

お問い合わせ ※要事前申込

琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課 産学連携推進係 TEL:098-895-8031



# 琉大21世紀フォーラム ACCESS MAP

交通機関

高速バス・モノレールで琉球大学へ  
空港▶琉球大学

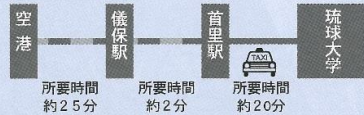
■ **高速バス** 1時間に1本程度 / 所要時間: 45分

111 番線 琉球バス・沖縄バス・那覇バス  
東陽バスの4社が交互運行

113 123 番線 琉球バス

■ 経路: 空港⇒沖縄自動車道⇒琉大入口下車  
(琉大入口にて下車。琉大北口まで徒歩で約4分)

■ **沖縄都市モノレール**



路線バスで琉球大学へ

バスターミナル▶琉球大学

■ **路線バス** 各20~40分に1本程度 / 所要時間: 40~50分

琉大東口・北口方面 97 番線 琉球バス

■ 経路: バスターミナル⇒国際通り(牧志)⇒儀保(首里)  
⇒琉大附属病院⇒琉大東口⇒琉大北口(終点)

琉大北口方面 98 番線 琉球バス

■ 経路: バスターミナル⇒国際通り(牧志)⇒バイパス⇒  
真栄原⇒沖国大前⇒琉大北口(終点)

**琉球大学大学会館  
3階ホール**



琉球大学 千原キャンパス



## 第87回 琉大21世紀フォーラム 参加申込書

	企業・団体名	氏名
1		
2		
3		
4		
5		

当日受付にて混雑を避けるため、事前申込みにご協力ください。

ご参加予定の企業・団体名、参加者氏名をご記載の上、**8月2日(火)**までに下記まで、FAXもしくはメールにてお申込みください。

お問い合わせ: 琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課 産学連携推進係

TEL: 098-895-8031 FAX: 098-895-8185

Email: sangaku@to.jim.u-ryukyu.ac.jp